

平成 25 年度 天文教育普及研究会 東北支部研究会 開催プログラム

13.01.23 現在

第 1 日目 (1 月 25 日、土曜日)

- ・午後 1 時 受付 (会場：郡山市ふれあい科学館多目的研修室)
※ビッグアイビル1階オフィスエントランス (セブンイレブン
右どなり) 入口より直接 20 階にお進みください。
- ・午後 1 時 30 分 開会および自己紹介
- ・午後 2 時 記念講演「会津大学における宇宙教育」
講師：寺菌 淳也さん (会津大学)
- ・午後 3 時 30 分 実践報告・研究発表 (発表時間 20 分：質疑含む)

発表タイトル	発表者 (敬称略)
アジアで初めての海外からのアウトリーチ 活動 PULSE@Parkes について	亀谷 收 (国立天文台水沢 VLBI 観測所) 水谷 有宏 (郡山市ふれあい科学館)
サイエンスカフェ『星カフェみやぎ座』は、 宮城県仙台市に “星好き” を増やすことが できるか？	比嘉 義裕 (ひが企画、仙台天文同好会)
ふくしまの宇宙 (そら) プロジェクト	佐藤 理絵
放射線教育における天文学の活用について	齋藤 正一 (スペースパークボランティアの会)
生徒とともに宇宙を楽しむ	北川 達彦 (那須高原海城中学校・高等学校)
アイソン彗星の観測と新聞報道	酒井 栄

- ・午後 5 時 30 分 第 1 日目終了
- ・午後 6 時 30 分 懇親会 (会場：会津郷土食 鶴我 024-931-1056)
※開始時間を変更しました。また会費が 5000 円となります。
第 1 報から変更となりましたが、あらかじめご了承ください。

第2日目（1月26日、日曜日）

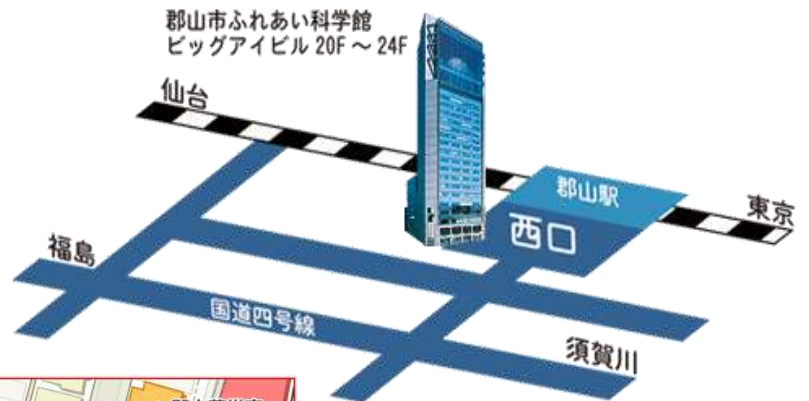
- ・午前 9時 受付
- ・午前 9時30分 実践報告・研究発表（発表時間 20分：質疑含む）

発表タイトル	発表者（敬称略）
暦のある授業	白鳥 裕（東海大学 総合教育センター （天文学教室））
スペースガード探偵団	豊川 光雄（日本スペースガード協会）
国立天文台水沢地区の広報普及活動と 田中館愛橋と思われた写真の誤りについて	亀谷 收（国立天文台水沢 VLBI 観測所）
天文教育小道具あれこれ	伊藤 芳春（宮城広瀬高等学校）
宮教大天体ライブ観察システムの紹介	高田 淑子（宮城教育大学）
天文教育普及研究会の Web ページを 活用しよう	安藤 享平 （天文教育普及研究会 Web 委員）

- ・午前 12時 閉会

会場地図

- 右；会場
- 下：懇親会会場



<発表内容 概要>

発表タイトル	概要
<p><記念講演> 会津大学における宇宙教育</p>	<p>会津大学における宇宙教育の取り組みについてお話する。後半はそれにも絡む小惑星探査の最新状況について解説する。</p>
<p>アジアで初めての海外からのアウトリーチ活動 PULSE@Parkes について</p>	<p>電波望遠鏡を遠隔操作してパルサーの観測を高校生たちに行わせる天文学出張授業が 2013 年 5 月にアジアで初めての活動が行われた。今回は、2011 年 3 月 11 日の大震災の被災地域である東北地域を対象としたいとのオーストラリア側の意向にそって、岩手県奥州市と福島県郡山市で実施した。</p> <p>これに日本側の窓口として参加して、深く協力したので、海外からの日本人への英語によるアウトリーチ活動への協力と日本の高校生と教員の反応などについて述べる。</p>
<p>サイエンスカフェ『星カフェみやぎ座』は、宮城県仙台市に“星好き”を増やすことができるか？</p>	<p>2013 年 9 月より、サイエンスカフェ『星カフェみやぎ座』をスタートさせた。本発表では、その経緯、内容の紹介、問題点を提示する。参考 URL : http://ameblo.jp/hoshicafemiyagiza/</p>
<p>ふくしまの宇宙(そら)プロジェクト</p>	<p>震災や原発によって「福島の本ほんとのそら」の素晴らしさを忘れかけている福島県民のみなさんに、もう一度、「ほんとのそら」を思いだしていただき、さらに、「空」の上にある「宙(そら)」を見上げ、元気になって欲しい、という考えから今回のプロジェクトを立ち上げました。物理的な復興だけでなく、心理的な復興も大事です。</p> <p>何ができるかまだ漠然としていますが、「発進(発信)」します。</p>
<p>放射線教育における天文学の活用について</p>	<p>福島第一原子力発電所の事故後、住民に放射線の基礎知識を啓発するにあたり、より受け入れやすく身近なものとして感じてもらえるように、イントロダクション等に天文学を取り入れた。</p>
<p>生徒とともに宇宙を楽しむ</p>	<p>勤務先(学校)で生徒とともに実施した天文普及活動と天体観測活動について報告する。</p> <p>はじめに、これまでの約 10 年間にわたる活動全体を総括する。ここでは、小学生や新入生を対象とする星空観察会の実施、研究活動としての流星群の電波観測(HRO)実施、国内外での研究発表会参加、星空案内人講座への参加、そして東北地方太</p>

	<p>平洋沖地震による活動内容の変更など、本校における天文活動の歴史を概観する。その後で、最近の主たる活動であるデジタル一眼レフカメラを使った小惑星の測光観測について、その方法と成果(途中経過)・課題を報告する。</p> <p>これらの活動について、ご意見ご助言をくださいますようお願いしたい。</p>
アイソン彗星の観測と新聞報道	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内の新聞報道を見る！ ・アイソン彗星の観測写真
暦のある授業	
スペースガード探偵団	<p>日本スペースガード協会では、岡山県井原市美星町にある美星スペースガードセンターにて、地球に接近する小惑星の観測と地球の周りを回る衛星や宇宙のゴミ（スペースデブリ）の監視を行っています。</p> <p>センターで観測した画像から小惑星を探しを行い、新発見の感動を体験する活動「スペースガード探偵団」の概要を報告する。</p>
国立天文台水沢地区の広報普及活動と田中館愛橋と思われた写真の誤りについて	<p>2013年は、緯度観測所初代所長の木村榮が1948年9月26日に亡くなってから70年に当たり、8月24日の水沢地区の特別公開の機会に、木村が洋行時に妻と長男にあてた手紙資料の一部を特別展示した。その際偶然にも、これまで木村と共にその指導者の田中館愛橋が写っていると思われていた写真が、実は、田中館愛橋とは別人が写っていたことが判明したので報告する。</p>
天文教育小道具あれこれ	
宮教大天体ライブ観察システムの紹介	<p>学校の指導要領で観察するように指導されている太陽の運動や星空の運動などの天体のライブ観測装置やインターネット望遠鏡の開発と実践など、宮教着任来15年以上経ち、天文教育と教員養成と感じていることをお話できれば幸いです。</p>
天文教育普及研究会のWebページを活用しよう	<p>天文教育普及研究会のWebページ http://tenkyo.net/ には、過去の「天文教育」誌のアーカイブを始め、ワーキンググループによる情報発信など、それぞれの現場で役に立つ情報が多くあります。その一例をご紹介しますので、ぜひご参考ください。</p>